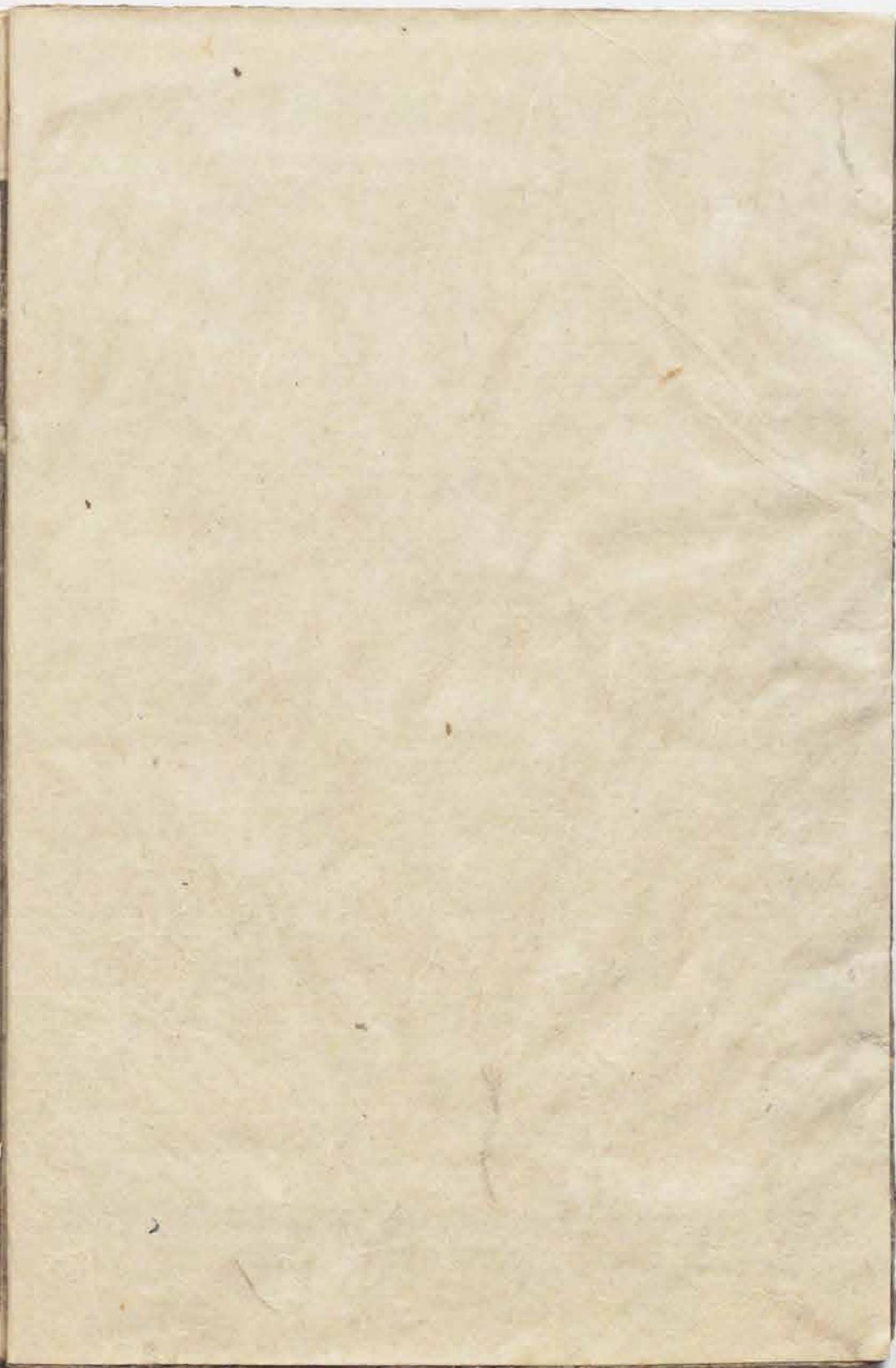


策朝先試樂
管歌聲
管
李心正前







市川團十郎

鎌倉平九郎

市川五郎

花井才三郎

市川高綱藏

川

市川



山下民之助

坂田佐十郎





常盤津兼全
吾妻國大夫

山石井半四郎

沢村源五郎





中村権之助



全
樓
席

中村野楯

中村金藏

大谷友左門





山風雜

ありとて近松大王と尊らりたりされども天王建のま
びやちあつたまほなりなりとてそらりの菴と名入てい
やーあひ言ひたるさるふも彼大勢の若者とも市川
三升ともひまきり近松大王の別業ある志あり左の
もとふ鼻おろしてつと通トクハ仲より一人の若黨
言蒲皮の羽とり城志るがまおと大王のおよ両手紙つ
可くまきと今南膳部州大日本花の吾妻ふかれふさ六
代目市川三升さるがまおと△ホとらへ近松翁うかつと三
三升のがおとやま衣と改對面つと人皆の者た
どかおむひひやせふありとまうしゆして合けつ君せら
いらせらまもまふとと下座のりやとて奥へ入と門
番大声をとり上三升公のお入りくと二と名ひけけ
儒ありと志つくとらとと三升もまもり此之居乃

想と入てとり長と下の衣装付と初對面のせり
ゆと海上使るれが上坐ハハ先と上使でもあひと上座
まさられがなるの内より紙子仕立の袖あり羽織とて近松
門左衛門支出賓主の一礼ありて四方山の吐一の席は哥
舞妓團のいんれとい又翁の以知まふゆとんひとる子細
みやと三升は向けら後てとるぐりや折翁が昔と語るも今
さうふと扇を弄ひて淨瑠璃の不作風かあり元来まはを
とる月御の家つえーものまよと奉仕らね森氏
とてその名もあしれー身ありーが故あて録と譯し
世でのれさるこのしんぬら平安堂菓林子とて元來の
ろどめの以京都とて万太夫が之居のねまゆとて
その後浪をよ名もさる竹本筑後かたまり近
松門たると名も改まおぬとやめて淨瑠璃の戲

作をまろこと百余番就中國戡爺と振袖の始り考
も音まきくらん箱り苦行苔の夜をすくひる仙人
ありし近松が枕のりくふイミのい止るんくの西声乃
下^タ洪^ナ将^ナ学^ガ碩^ガ才^ガありてあまうこの戯文とありすこと
智^チ惠^エ才^ノ一の文^ノ珠^ノ先生^ハはる早^クも支^シ難^ナの菩^ハ薩^ノの余^ト
うけ是^レちこそごくゆらわれうの来^ル仙^ノ都^ノ小^ノ伴^ハひて作者
の仙^ノとるべきぞあつくうごごとありし来^ルや来^ル也
外^ノ記^ノづいてマウ^ノう^ノぎや空^ノ中^ノより黒^ク雲^一ひくまひ
下^ノま^ノ吉^ノ事^ノあつら^ノ山^ノ事^ノあつら^ノあ^ノん^ノめ^ノも^ノせよ不^レ審^ラう^ノら
と^ノ流^ルも^ノ家^ノと^ノい^ハして立^チ出^ルし^ノ享^保九^年の^ノこ^ト
ありし^ノ時^ノ七十^有余^ノ業^ノ今^テもか^クあ^ハる^ノは老^人落^白
然^ルる^ノ鴻^ノの月^ノの俊^寛い^ウく^ノや^ノん^ノ見^ル^ノ草^ノも^ノ
も日本^ノの地^ノこそ^ノり^ノ昔^ノ日本^ノ紀^ノの混^沌未^分又^ノ唐^ノ土

の上古^ノは似^テ三^ノ皇^ノる^ノね三^ノ枚^ノ櫛^ノの^ノ威^ノ勢^ノ
争^ヒ赫^クる^ノ。それ^ノも^ノ翁^ノが^ノ方^ノ便^ノを^ノ万^ノ民^ノ大^ノ平^ノと^ノ諷^ヒ和^ノを^ノ
整^メよ^クら^ノ又^ノ三^ノ種^ノの^ノ宝^ノと^ノ称^スる^ノあり^ノ才^一は^一金^ノの^ノ
銀^杏才^二銀^ノの^ノ橋^才三^玉の^ノ酢^醬州^{あり}三^種の^ノ物^を
一^ノ小^ノ守^ノ護^セる^ノあ^ノん^ノと^ノ三^ノの^ノ國^ノは^ノら^ノあ^ノん^ノ物^心名^を
号^森妓^{とい}猿^市森^の三^國を^三大^將の^ノ預^ケる^ノ平^均の^ノ世^に
あり^つと^も翁^ノが^ノ家^ノと^ノつ^ト者^かし^ノさ^ふに^ノ依^テて^ノた^のめ^る
け^ハ仙^術と^ノ傳^受して^ノ長^生不^老の^ノ家^にお^キり^たま^へて^も
い^さあ^りよ^つき^やね^御代^にも^めて^さけ^しと^淨ら^り本^の大^切
文^を榮^へん^事と^稱ぶ^るや^ひと^の三^件公^と三^の
の^切乃^物終^をお^し切^抜く^長吐^し三^件も^も
降^るの^子細^{とい}引^くれ^ぬ江^戸の^子曾^氣も^も
小^ささ^ひれ^ば是^{より}二^代目^近松^大王^とま^りさ^や

乙一のろも合を春々早〜繪草帛を乃
 物賣よりか〜平屋の封切まで。ど〜や〜か〜や
 情物の諸君子う々必ウ活ハハ〜下流〜
 一〜がひ敵討や。ど〜の物活〜はぬ物の〜
 ぐ〜の春の笑が〜

何〜ま〜後生〜
 画工豊國が評判。ひ〜不

日本
 一
 一

優優二階興附録卷下尾

後市

余此きて云々物々〜戯場を愛するは〜
 ども活判記の足切名〜の〜
 や〜〜事〜お〜
 活判令の活子あ〜
 テンボウ〜お先〜
 シンタウ〜お先〜
 活判の〜徳お〜

東都畫人

歌川陽齋豊國



寛政十三辛酉年正月發行

芝敷寄屋橋御門通山下町

萬屋太次右衛門

東都書林

本材木町一丁目

春松軒

西宮新六藏梓

三戲場
大雜書

俳優節用集狂言袋

三馬作
全一冊

朱し成の初春うら

生

